

独立行政法人

海洋研究開発機構

会期：2011年8月17日(水) 13:00～8月19日(金) 16:00 2泊3日

地球科学のあり方を問い、そして未来を描く、それが参加者の課題です。

日本ほど地震研究を懸命に取り組んでいる国は他にありません。

そのなかでも海洋研究開発機構は、海底ネットワークシステムによるリアルタイム地震・津波観測、海洋調査船による海底地殻構造探査、潜水船による海底断層調査、地球深部探査船による断層掘削、スーパーコンピューターによる地震シミュレーションなど最先端の研究を展開しています。

講義では地震研究の最前線を学びます。実習では4つのテーマに分かれ少人数で観測・観察・分析に取り組みます。特に実習では、参加者の皆さんが自ら考え、創意工夫できるように十分な時間を割きます。そのほか研究者と討論し、地球科学の将来について考えます。

最後に参加者ひとりひとりがサイエンスプランを発表し、理想を具現化するための道を探ります。



会場

独立行政法人 海洋研究開発機構 横須賀本部
神奈川県横須賀市夏島町2-15
(JR「横浜駅」より約30分、京浜急行線「追浜駅」
下車、バス約15分)
URL: <http://www.jamstec.go.jp/>
宿泊場所: 海洋研究開発機構海洋研修棟

募集人数

20名

キャンプのプログラム内容(予定)

1. 地震波速度計測

岩石カッターで試料を作成し、試料内を伝わる波の速度を計測することで岩石の種類や状態によって地震波速度がどのように変化するかを調べます。この計測を通して地下の物質の推定方法を学びます。

2. 構造探査

地震計をグラウンドに展開し木槌で震動を起こして波が地中をどのように伝わっていくかを調べます。その結果を用いて地下の構造を求める方法を体験します。

3. 断層実験・分析

地震は断層がすべることで発生します。岩石の摩擦加熱実験を行い、熱変質部分の分析から、断層が放出したエネルギーを考察します。

4. 隆起断層実施調査

三浦半島には過去の海底が隆起し、陸上に顔を出しています。そこに発達している断層や地下構造を現地を観察し、そこから地下深部の様子を推定します。

スケジュール(予定)

1日目 8月17日(水)

13:00 京浜急行「追浜駅」集合受付
13:30～13:50 開講式 オリエンテーション
14:00～14:25 「地震と地球科学とは」
14:30～15:00 「なぜ地震を調べるのか」
15:05～15:35 「掘削で何がわかるのか」
15:40～16:10 「過去を知り 未来を予測する」
16:20～17:30 横須賀本部施設見学
17:30～18:00 研修棟チェックイン
18:00～19:00 夕食
19:00～20:00 自己紹介 討論会

2日目 8月18日(木)

9:00～12:00 4班に班分け
1班 ①地震波速度測定
2班 ②構造探査実施
3班 ③断層実験・分析実施
4班 ④隆起断層実地調査実施
12:00～13:00 昼食
13:00～17:30 1班 ②構造探査実施
2班 ①地震波速度測定
3班 ③断層実験・分析実施
4班 ④隆起断層実地調査実施
18:30～19:30 講師等との交流会

3日目 8月19日(金)

9:00～10:30 個人発表用資料作成
10:40～12:00 個人発表会(1人10分で発表)
12:00～13:00 昼食
13:00～15:00 個人発表会
15:10～16:00 講評・閉講式、終了後解散

1、2日目の夜は宿舎でミーティングを行います。

プログラムの関連図書、Webサイト紹介

<http://www.jamstec.go.jp/>